

触の宴
BOOK
No'2

触【しょく】

1 ふれる。さわる。

2 きっかけとなる

～国語辞典漢字解説より

男の浪漫！！

～麗公子脳内辞典より



こんにちは。サークル『RED RIBBON REVENGER』
の魔公子と申します。
今年の夏コミ新刊２冊目は週刊ジャンプ新連載の
「ToLOVEる－とらぶる－」本第２弾です。
第一弾と同時発行と、かなり無理なスケジュールでしたが
最近稀にみるハマり具合だったので
疲れ果てながらも常時ハイテンションで描けました。

特にジャンプ２８、２９号を読んでからは
もうテンション上がりまくりで－
だって触手プレイですよ！
殺の悶鶏って「んっ　！」ですよ！！
そんなわけで、今回は吾棠触手本となりました。
原作ほどエロくないですが（泣）

とらぶる本は第３弾も近々発行予定です。
その後も続くかもしれませんので
今後ともどうぞご期待を頂ければ幸いです！

目　次　　RED RIBBON REVENGER　魔公子


くそっ！何でこんな事に・・・!!
ララっ達で もめ事に巻き込まれる覚悟はしてたけど
ここかっ!?
グッ
春菜ちゃんに・・・!!
よりによって・・・
君の友人の身柄を無事に返して欲しくば君一人で来たまえ
違うっ!
どこにいるんだ春菜ちゃん!!



結城リトをおびき出すために捕まえてみたが
フフ、少し遊んでやるか
つ〜
んっ


触の宴
作 魔公子


ズルッ
ミュルルル
ズンッッ
んっ
ずりゅ
じゅる
あっ…ん
あっ
ずりゅう


ならばもう少し
ずりゅ
ほぉ 感度はかなり良いみたいだな
ズリュウウウッ
ーっ!!
はぁ…あ
あぁ
はうっ!
あっ あ
キュッ


なんだ
濡れてるのか
じわっ
クイッ
ペロ
モゾ
モゾ


ククッ
はぁっ!
おっと さすがにそろそろ 目を覚ますな
あうう
さて どうしてもらおうかな
せっかくのエモノだ とことんあそんで やるとするか
ヒョオオオオ


ん…
ギョロッ
ひっ! なっ何!?
!?
ククク…


そっ そんなウソよ!!
オイオイ 現実にオレみたいな化物がいるだろ
それに お前はなんて濡れてるんだ?
あっ えっ そんな…!
なっ これは夢なんだって
ズルッ
とろっ
自分で素直になってきたよ
あっ
ズルッ
はあっ
私 で、でも 結城くんが…
ハッ! こいつあの男に恋してるのか! それは…
結城だってこうやってよろしくやってるさ
だから お前も楽しんじまえよ!
はあっ! あっ… あんっ
あ…
れろっ
ズルルッ



あぁあっ
グッ
グッ
くりゅ
ふぁあっ!!
くふうっ
あっ.はぁっ
びくっ
ぐちゅ
はぁああぁんっ
にちゅ
ぬちゅ


ああ ごめんなさい
清純ぶりを装して こう淫乱娘がっ!!
はあぁあっ
ズブッ
ムニュ
そんな激しいっ…
ズニュ
ビリッ
ああーッ
ビリリリ
あふうっ
グニュ


クリッ
ひあっ!!
ピクン
はうっ
あっ
あふっ
気持ちいい
はぁ
ふぁあっ
グチュ
ズリュ
あっあああんっ


でも
お前が一番
欲しいのは
コレだろ？
あっ でも
ソレは
ふあああん
聞こえそう？
あ そうそう先
欲しいの！！


ゆ 結城くん!?
これは…違っ
あっ見ないで!!
だめぇっ!!
ずちゅ
いやあああぁっ!!!
ズップゥゥ
クククッ


ずぶぶっ
おぷぷ
じゅぶぶっ
はぁあぁッ
あぁっ…だめぇっ!!
ズッ
許してぇ
ああぁあぁあぁッ
んっ!
きゅっ
あぁん
ズプッ
ズプッ
ひゃうっ
くりっ
くりっ


ひぃっ!
もう だめぇ!!
あっ あっ
あっ うぁ イッちゃうっ!
ふぁあっ あぁんッ!

その時、歴史は動いた…

西暦２００６年4月２４日
ジャンプの歴史が１つの転機を迎えようとしていた。
永きに渡って男性読者に対し鎖国政策を
とってきたジャンプ国に
新たな歴史をもたらしたその黒船の名は
「ＴｏＬＯＶＥる～とらぶる～」
この後ジャンプ国に吹き荒れる
萌え維新の幕開けであった…

てな訳で、久しぶりに読んだジャンプで
とらぶるにくぎづけになってしまった魔公子です。
特に２８号の触手プレイには
キスに慄くゼントラーディ人のごとく
大きな衝撃が…。
で、今回の漫画を描いたわけですが
ごめんなさい…続いてしまいました…。
以前のスタオー本の時もそうでしたが
あまりにもハマってしまうと話が長くなりすぎてしまって、
続きはなるべく近早いうちに作るつもりですので
お許しを頂ければ幸いです。

２００６’８’１　魔公子　拝

夕飯には困ります



たいれる漫画S

略して
「たいまんが」



それは夢に過ぎない



釣った魚を食べられる居酒屋に行きました
この2階からも魚が釣れるのですよー
魚を釣るのですよー
ほほっ
釣れますかねえ
もしや
うわ
なんて事もある訳けない
なんて事は起きませんでした

未来の世界の猫型ロボット





ばやまんが

目次

夏コミは「つちねこ」でゲストマンガ描いたんで見ろ!!



2. 語り



「触の宴」
アンケート

この本に対するアンケートにご協力下さい。あなたの文章やイラストが掲載されるとポイントがたまります。
ポイントが貯まると各種特典（？）景品が貰えます。なお　紙はこのページのコピーでも白紙でも結構です。
アンケートはメールでも郵送（おくづけの住所にお願いします）でもどちらでも結構です。
メールアドレス　rrr@wasurena.sakura.ne.jp

あなたの住所氏名・ペンネーム（

Q１　今までの新刊本で所持している本の上位３つをお書き下さい。
1位（　　　　　　　　　　）
2位（　　　　　　　　　　）
3位（　　　　　　　　　　）

Q２　「ToLOVEる」のララで話を作るとしたら　どの服装での作品が読みたいですか？
複数OKです。
1　宇宙ペケのドレスバージョン（登場時の服）　2　学校の制服　3　私服　4　浴衣
5　和服　6　ファミレス制服　7　メイド服　8　ナース服　9　スクール水着
10　下着　11　裸　11　その他（　　　　　　　　）

Q３　「ToLOVEる」の春菜で話を作るとしたら　どの服装での作品が読みたいですか？
複数OKです。
1　宇宙ペケのドレスバージョン（登場時の服）　2　学校の制服　3　私服　4　浴衣
5　和服　6　ファミレス制服　7　メイド服　8　ナース服　9　スクール水着
10　下着　11　裸　11　その他（　　　　　　　　）

Q４　「ToLOVEる」の御門で話を作るとしたら　どの服装での作品が読みたいですか？
複数OKです。
1　宇宙ペケのドレスバージョン（登場時の服）　2　学校の制服　3　私服　4　浴衣
5　着物　6　ファミレス制服　7　メイド服　8　ナース服　9　スクール水着
10　下着　11　裸　11　その他（　　　　　　　　）

Q５　「勿忘草れっと」企画『鈴山のためにならない人生相談』
紙面で鈴山に相談したい事がありましたらどうぞお書き下さい。
（僕は本当に口が悪いので大丈夫な方のみお願いします）

Q６　その他　ご意見ご感想　こんなのを描いて欲しいというのがありましたらばお書き下さい。
イラストも大歓迎です！

魔公子（以下　魔公）「えー　みなさん夏コミの原稿が忙しい中集まって頂き……」
禁山「あ　俺まだみずきノとこのゲスト原稿　手えつけてねーわ」
魔公「お前なー！」
禁山「大丈夫だ　まだ。えーと今回の自己紹介は『最近コレはいいぞ』とオススメする作品を交えてやってくれ」
魔公「ん～僕は『ToLOVEる』ね」
桐屋杏介（以下　桐屋）「……何ですかそれっ」
魔公「ブラックキャットの作者の新連載ですよー　これがね～　いーんだよー」
桐屋「余快知らない」
魔ム「今回の夏コミはそれの本で出すのさ」
禁山「ノノ節りはもう一個の方でやったからもういいだろ。んしゃき次」
高栗しんの（以下　高栗）「最近『ゼーガペイン』が楽しくてしかたない高栗しんのです。いやね　今晩と先週がスゲー面白かったよ」
禁山「アレってサンライズ作品だっけか？」
高栗「そーそー。で　伊東岳彦原作」
禁山「あ　そーなのか。アレは見てないなー……ってノコー　メンツーを見ない！」
魔ム「え？　だって知らないしー」
禁山「……まあいーや。次はきりやん」
桐屋「最近は萌え業界からめっきり遠のいた桐屋です」
禁山「別に萌えしゃ無くても　コレは良いってのはあるしゃん」
桐屋「そうね……戦争映画かな」
魔ム「ほうほう！　どんなのっ」
高栗「あ　食いついた」
桐屋「『硫黄の島』とか『こうこくの守護者』あたりが今熱と」

魔公「おー　いいねいいね」
禁山「……ら辺は俺が既にでこいつか詳しいのよ」
桐屋「けど魔ム子さんが食いついても渋谷さんの大半はついてこれなくない？」
禁山「だな。しゃあ俺の番か。最近『シャカリキ！』が文庫化して　やっぱ熱いなアレは」
魔公「……えーとさー」
禁山「知らないよなお前は」
高栗「『め組の大吾』の作者の作品」
桐屋「連載当時はチャンピオンだよね　確か」
禁山「そ。たた文庫は一学館文庫で出たけどな。分かったか魔ム子り？」
魔ム「あのさー　しゃかりきコロンブスって何だっけっ」

一同「は？」

桐屋「光GENJIの歌でありますけど」
魔公「そっか～　いや～そのフレーズが頭の中から離れなくてさー」

禁山「テメーぶっ飛ばすぞ！」

高栗「めちゃめちゃキマイ〜ースたよ」
禁山「もうやだコイノー　魔公子抜きで対談やりてーよー」
桐屋「何でパラダイス銀河ぅ」
魔公「いや　お舞台でさー」
禁山「いーよノノネタは！　も～いや　さっさと次行け」
魔公「えっ　禁山は誤ってなくなぃっ」

禁山「俺は『シャカリキ！』だって言ってるろ！」

高栗「記憶に残ってないよ　この人」
桐屋「スゲー天然」
魔ム「ん～と　今回はロートス木「蟹蟹」のアンケートで行きます」
禁山「最悪だコイツ」

懲りない面々



魔公子
「RED RIBBON REVENGER」代表
車を駐輪した１００円パーキングの場所を忘れてテンパる



禁山
「鋼鉄プリズン」代表
魔公子と同じく駐車場所を忘れむりむりで探られる

桐原「あ 待って 俺今年になってからRDRの本見てないわ」
魔公「そうか 最近きりやんイベント出てないからあげてないのか」
葉山「こっちのロートス本は再録一本と新作が載ってるやつで しんのがゲストイラストで参加してる」
桐原「何でエロじゃないの?」
高棠「たってきー」
葉山「あ まずノコで叩くぞ」
高棠「ぼくの純愛? そんな事言うなら葉山さんアンタいつも本編よりコメントページの方が気合い入ってるのはどーしてー?」
葉山「そ[illegible]ノコ[illegible]よ[illegible]しーしゃん本編なんぅ」

魔公「良くねーよ!」

桐原「あ 高遠さん越してるんだ」
高棠「それが昨年のやつ?」
葉山「きりやん 覚えてないか? ソレが載ってた本にはお前のエメドラのエロ作品が載ってたのを」
桐原「うわーヤヘー! 思い出して来たよ。そーいうそうだったよー!」
魔公「しんの言はダストで きりやんは優秀な性癖があったな」
葉山「きりやん的に黒歴史なモノだけどな」
桐原「ヤベー失敗したよ」
葉山「何か今回のは最初からギスギスしてるぞ」
魔公「んじゃタイミング良く このアンケート項目からいってみようか」

◆あなたのストレス発散方法は?◆

葉山「変なアンケート取ってるなー。こんな健康的なぞノいらなくないか?」
魔公「いーんだよ。ではこちらのご意見」

■P・N イヴの保護者さん　3ポイント
後先考えない買い物(アニメ・ゲーム関係限定)。食費とか足りなくなりますがやめられません

高棠「いきなり否定で悪いんだが 最近なんかで言ってたけど 娯楽消費とか恋愛はストレスを発散してるんじゃなくて 決めてるだけなんだって。結局最後は自分に返ってくるから」
葉山「なるほどな。けど 程度によってはコレでいーんじゃねー?」
高棠「こーいうのは大体度を越すもんなんだって」
葉山「あー耳に痛いね」
魔公「俺は買い物って言うか 飯と睡眠かね。みんなのストレス発散方法は?」
葉山「俺はトーク。とにかく喋る事だな。これはよくやる。相手はみずきかオメーなんだけど」
魔公「あーよくあるな」
葉山「でな、ネタなら腐るほどあんのよ。きりやんとかなら何日でも話せるぜ」
桐原「アニメとかマンガとかゲームとか特撮とか映画とか…」
葉山「後、身内のネタとかな。俺はそんなのでストレス発散してる」
魔公「きりやんは?」
桐原「俺はストレスを発散出来ずにボロボロになっていくタイプなんで むしろ教えて欲しい側の人」
魔公「ないのかよ」
桐原「そんな方法知ってたらこんな風になってないー!」
葉山「イタい事言うな」
高棠「でさ きりやんの場合そういった精神状態が

居酒屋れっどの



高棠しんの
「GP-KIDS」代表
今日は1時間半しか寝られなかった



桐原透行
「RoughDriver」代表
下北沢の人任せ内人

桐屋「それはある　邪な作者ってさっかひの内面えぐる様なのをネタに書くからなー」
魔公「誰かにきりやんて人間の負の部分にスポット当てたやつが多いからな」
高菜「苛めっ子なんだよ」
葉山「……どーだろ。きりやんの場合　苛めてるのに自分もボロボロになって行ってる気がするが」

高菜「しゃあきりやんは真性のマゾだ！」

魔公「しんの君　何言ってんのっ」
葉山「因みに俺はボーSで女にMだ」
魔公「お前も何言ってんだよ。しんの君は？」

高菜「俺は総受けだよ！」

魔公「違うよ　ストレス発散方法だよ！」
高菜「ああそっらぁ　えーっと　あっだかなぁ」
魔公「え？　それはストレスが？　それとも方法か」

高菜「方法だよー　ちょっとぉー！」

葉山「いーね、今のツノコ、は冴えてるな」
高菜「俺だってストレスくらいあるんだよ！　けどその発散方法となるとなー！」
桐屋「しんのさんでストレスをどういう時に感じてるのっ」
高菜「そうね『君が悪いなー』とかがあったら『あ俺ストレス溜まってんだー』って」
葉山「それって単に体調が悪かったってだけじゃねーっ」
桐屋「ストレスを感じてしゃ無いんじゃないのっ」
魔公「そもそもストレスってそんな、ノホリしたものでもないと思うけど」
高菜「しゃあ　ストレス発散方法は知らないけどストレスを生活の中で消化してるんだ！」
葉山「言わんとしてるトコは分かるけど　ノレってストレスを感じないって事に感じた答えなんじゃないのか？」
魔公「だよね。消化してるんだったらそうなる」
桐屋「やっぱ感じてないいんじゃん」
高菜「ちょ　ちょっと待ってよー！」
葉山「いーしゃんノレで。ストレスなんて無い方が良いんだしサ」
桐屋「そっらの方がキャラに合ってるし決定で」
葉山「しゃあ次だ」
高菜「待って待って！　今から意見出すから……」
※これといったモノが無かったんでカットします

高菜「うわっ、ヒデェ！」



■D・N 紫石さん
5ポイント受賞



■D・N イヴの望羅さん
5ポイント受賞

◆読者のご感想コーナー◆

■F・N ともさん　Jザイト

魔公Ｉ様のスライムネタ物凄く大変だった様でお疲れ様です。でも……うーん御免なさいなんか触手の方が良いです。タイトルもロートス解除設定ですし合いますよー　高遠様もイラスト触手！　葉山さんも触手……これで魔公子様も触手なら『触手「魔公」』な触手本だったのに残念と思いました　やっぱりマスターが悪いと！

葉山「この魔公Ｉのスライムネタはダメだな。まとまり無いし」
魔公「この本はお前と高遠さんの二人誌の予定だったろ。執筆参加で人足だったんだから……」
葉山「いい訳はいらん」
魔公「でっ……スライムもさー　トーンを消しゴムでごしごしと根性焼付ったんだよー？　まあ

高菜「当来映えは自分でも気に入らなかったけど」
魔公「無かっ　うら消しゴムで　手ぶっつったよ」
高菜「消しゴムでｯ　普通砂消しじゃないｯ」

一同「砂消し買えよ！」

魔公「いや　正月にっかし　そうそっ　これ正月
　旗してやったんだぞ～！」
桐窪「同人作家に正月は無いんですよ」
葉山「イマイチだよな－コレ」
高菜「子森は描いても良かったね」
桐窪「だね。それから光沢の部分を白ヌキした方が
　良かった」
葉山「散々だなオメ～　もーいーから次行け」
魔公「ひっく　俺　消しゴメ　がんばっ　マノメに
　ずびー　」
葉山「あー泣け泣け」

◆あなたが萌える女の子との関係は？◆

魔公「こちらはインターネットでのアンケートの
　項目です。一番多かったのは幼馴染、次は同級
　以下は従姉妹　実妹　実姉　女教師　主従
　姉妹、義妹　女子生徒、娘の順になってる」
高菜「姉とか妹は血の繋がりがある方が萌え騒って
　るのが凄いね」
葉山「何か後半のはAVジャンルみてーになってる
　ぞ」
高菜「敵って　また意外なトコが上位に来たね」
桐窪「昔の熱血モノによくありましたな」
葉山「そんなに嫌いじゃないね。じゃあここでそれ
　ぞれの好きな関係を言え」
魔公「じゃあ俺から」
葉山「俺かよ　俺はヘタレ『委員長と不良』。これ」



■D・N 夢木留之丞
5ナイ イト似顔



■D・N パピル重畳之丞
6ポイ イト似顔

魔公「お前それってリヴァイアスじゃないの？」
葉山「違うー　エヴァァー！」
桐窪「トウジと委員長だ」
高菜「また古いので来たねー」
葉山「エヴァもおいしくなるんだよな－」
魔公「けど　別にトウジは不良じゃないだろ」
葉山「まーそーだがな、けど　コレが好きね。彼氏
　が無い　一人お姉ちゃんを彼と言われ合うみた
　いなのが良い。イメーはどーよ」
魔公「そうね　敵かな。最近ディスガイア２をやっ
　てんて、素直になれないロザリーが可愛いん
　だよねー。
　でもアンケ
　ートの人気
　投票では
　本もネット
　もエトナが
　一番でした。
　エトナもまアいいんだわ。ノンが――」
葉山「はい　もう結構。きりやんはっ」
魔公「えっ　ちょっ　京が――」
桐窪「ちょっと待って　考えるわ」
魔公「しゃあ鉄か　」
高菜「しかしこう見てみると大体対象が年下の方に
　偏るね」
魔公「－アレっ」
桐窪「けど秋子さんとかはOKってのが多くない」
葉山「ソレってみずきしゃん。おれは早苗さんの方
　が良いな」
桐窪「早苗さんも良いな」
高菜「お前ら何の話をしている」
桐窪「鍵トークですかぁ」
葉山「何ホビイ演でもっ」
高菜「原知に触っ子に来るなよ」
葉山「……」



魔公「しんの前はあれでしょ　詠美ちゃん様と和樹の関係」
葉山「オメーが答えるなよ……」
高栞「けど　そうだね。他には……」
魔ム「悠久のパティと主人公とかだね」
葉山「だから一っ！」
桐原「ライバル兼友達兼恋人ね」
高栞「そうね　最初はいがみ合ってて色々衝突するんだけど　そんな触れ合いからいつしか恋人……みたいなのが好きだね。
まあ　その根っこにあるのはツンデレだけど」
葉山「きりやん　何か一っ」
桐原「えーとね　古典的だけど意外と気に入ってとこ　ろで異世界のヒロイン」
葉山「あ　いーね。恋人同士になっても最後はそれぞれの世界に帰っちゃうやつね」
桐原「そうそう　なんてエタメロな話」
高栞「あれはついてくるやん」
桐原「ついてこないバージョンもあるやん。もおーイノトエントも大好き」
魔ム「じゃあ異種族間なんてのも良いんじゃない？」
桐原「んー　それも悪くないんだけどもちょっと違うかな」
葉山「時間軸とか絶対的な位置の違いは寂しいな」
桐原「ですね。彼あれた。男が宇宙パイロットで宇宙に旅立ち　女は地球で暮らしてて　戻って来た時には女が年とってて　下手すりゃ将来が出て来る様なトップ世界なやつだね」
高栞「あれが　絶対にハッピーエンドには行けないやつだ」
桐原「そーゆーのが好きね」

葉山「病んでるな」



■ D・N　パピに冥祭され　5ポイント獲得

■ D・N　暴威薫され　5ポイント獲得



桐原「何でーっ！」
葉山「え　好きやけんどもやー」
魔公「お前も病んでるよ」

◆葉山のためにならない人生相談コーナー◆

桐原「……何？……のコーナー」
葉山「そっか　きりやんは知らんのか」
魔ム「画像始めた新企画。葉山が読者の相談に独断と偏見とその日の気分で勝手気儘に回答する「てめぇ何様だ？」ってコーナー。でも読者には人気あるみたい……」
葉山「サクサク行くぞー」

■ F・N　vanilla さん　[illegible]ポイント

来年就職なので今年でヲタをやめなくてはなりません。どうしたら良いでしょうか？」

葉山「やめられね～！　無理ナからそのままヲタでいろっ！　一イ次っ」
魔ム「えーっ　ちょっと！　もっと斯れよ」
高栞「就職するからってヲタをやめる必要もないしねぇ」
桐原「つちねこの人達みたいに働いててもヲタを続けてる人もいるしねー」
葉山「そー　大体ヲタはやめようと思ってやめられるモノじゃねーんで」
高栞「覚醒したら終わりだよね」
魔ム「ｶ　覚醒って……」
葉山「異株が無くなったら自然とやめられる1。その時まではヲタでいろ。あ　就職はしとけよ　以上」
魔公「えらそーに。あ　就職と言えば　こんなご意見も」

■P・N イヴの保護者さん　3ポイント

やりたい仕事を見つけたいです。好きでも無い仕事を続けるか　思い切って新天地を目指すか　葉山さんならどっちの「どの様な」行動をとりますか？

葉山「場合によるー」
魔公「おい！　一言かよ」
葉山「そーねーコレさ　やりたい仕事とか今の仕事がどんなんだかヤグとか具体的に言ってくれればまだ答え様もあったんだが」
桐原「後　仕事をどうとらえるか　ですね」
高栞「『ぶっちゃけ金です』とかだったら日給高けりゃいいだろーし」
葉山「で　やな仕事って言ってるけど大体仕事にやな事は付き物なんで　それに対して向き不向き根性があれば　やめようとやめまいとどーとでもなる。そんな感じ」

■P・N ともさん　3ポイント

年下の女性と上手く付き合うテクニックがありましたら　ノエントルメノな葉山さん是非教えて下さい　後　葉山さんは歳の差はどれ位までOKなんでしょうか。

葉山「年下よ悪路！　悩みに歳の差を気にする？」
高栞「しない。恋に年齢は関係ないよ」
桐原「俺も同じ意見だね」
葉山「俺も気が合えば歳の差は気にしない。オメーはっ」
魔公「年齢は気にしないけど精神年齢は気になるかな」
葉山「けど　年下と付き合うと精神年齢的な問題が必ず出ないか？」
高栞「あー、出るね。その差を埋められなくて駄目になるみたいなのが多いよ」
葉山「年下の方も年上に求めてるのは大人な包容力とかじゃん。だから　上手く年下と付き合いたいんだったら大人の包容力を身につけろ！　そーすりゃちょっとやそっとのワガママなんざ軽ーくかわせるサ。まー男ってどこまで行っても子供の部分を捨てられないトコあるんで無理っぽいけど」
魔公「そ　葉山みたいに軽ーくあしらわれます」
葉山「おいっ　お前人が折角大人の男っぽい意見を言ってんのに」
魔公「どうせどっかでボロボロ出るんだから」
葉山「オメーが割り出さなくってもいいんだよー」

◆RRRのユコをこうした方が良い◆

高栞「そんなアンケート取ったんだ」
葉山「意見で来たのかよ」
魔公「来た来た。しゃあまずはこの人から」



■ロ・N ケコさん　6ポイント獲得

■P・N エセルドリーダさん　3ポイント

セラフをもっとエロエロにして読者に興奮をかき起こさせる様なセリフを作って欲しい　そうすればもっとエロい同人誌を作る事が出来ると思う？

葉山「魔公子　オメーはどうよ」
魔公「そっね　もうちょっときわどくしても良いかなとは思うけど」
葉山「この人が言ってるのは露骨な描写の事だろうからノレしゃ駄目じゃねーか」
魔公「露骨な描写ねー。キャラクターによっては『このキャラはこんな事絶対言わないだろ』ってのがあるから。ウソ臭くなっちゃう場合があるんだよね。逆に『あのキャラがこんな事を……！』って効果もあるから　キャラによって程度を使い分ける必要があるかな」



■ロ・N 綾ちゃんさん　7ポイント獲得

■P・N KIDさん　3ポイント

このままで行って欲しいです。イラスト本やグレ

スケ処理などの本文データ原稿本が多い昨今
ちゃんとした漫画で しかもアナログでやって
いるサークルさんは数少ないと思います。しかも
これだけ速い発刊ペースで 強いて言えばもう
少しページが欲しいですが このクオリティが
維持されるのでしたら満足です

葉山「魔ム子……しんのの居る時にこの意見は
ちょっと……」
高菜「大丈夫だよ。最近はグレスケ本とか出して
ないし」
魔ム「『最近は』って……」
葉山「しんのの場合 余計な言葉が頭に付くよな」
高菜「いや～ そんとこね～」
桐屋「しんのさん 北崎拓みたいな言い訳やめま
しょうよ」
高菜「クソっ サイル撃ってやる！」
魔ム「話を戻して 本文デジタルだけど」
葉山「デジタル嫌いなんだよ。プラスチックみてー
で みずきともよく話してるっけ」
桐屋「みずきさんは生粋のアナログ派ですからね」
高菜「表紙もコピックだし」
葉山「めちゃめちゃアナログだな」
魔ム「あ みずきさんのネタが出たんでこの意見」

■PN 可憐大好きっ娘さん 3ポイント
神奈みずきさんのサークル『つちねこ』の同人誌
の通販が出来れば良いと思います

葉山「良いね！ こいつ最高！」
桐屋「えっ でもコレって『RKRをこうした方が
良い』って質問なんじゃ……」
葉山「いーな、こいつ大好き。ネタで書いた感が
無いもの」

高菜「炎鍋の楽だね。真面目に書いてる」
桐屋「ここはまあまあなんすよー」
魔公「この方はよっぽどみずきさんの本が好きなん
だね」
葉山「あ 今回の夏コミ、みずきの新刊にゲスト
参加してるんでよろしく」
魔公「宣伝多すぎないかお前。で オチなんやけど
今の本ネタを引っ張って しんの君とまりやん
にうちのサークルに対しての事を聞こうか」
葉山「つーか、俺はむしろ対談に対して意見が欲し
いね。いーかげんマンネリなんで」
高菜「組み合わせを変えてくってのはどう？」
魔公「あー それは考えた事あるけど住んでる場所
とかネタが被るかとかでなかなか難しい
んだわ」
葉山「例えば しんのとあかりとみずきで妹系で
対談とか無理じゃん」
魔公「どうしても面子はね―」
高菜「じゃあコレは？ 対談参加の面子をあらかじ
め本ノートで告知して質問とか意見を募集す
るのよ」
葉山「おー 面白いなソレ」
魔ム「出来るか？ 告知してから対談までの日数を
確保しなきゃならんし」
葉山「ソレは何とかなるんだが……質問や意見が
無いとキツいな」
魔公「参加者の認知度がどの程度なのかが分から
ないんでありうるかも」
桐屋「けど アンケート送ってくるのは常連が多い
し大丈夫っぽいけど。それから魔ム子さんと
葉山さんがそれぞれで対談やるのって
どう？」

葉山「やりたい！」

桐屋「例えばこの四人かと 魔ム子さんとしんの
さん 葉山さんは俺と みたいなやつ」
葉山「いーねー 俺ムやんきりかと読者がついて
これるかが不安だが 正直魔ム子抜きで対談
やりたいとは言ってたんで そのうち実行
します」
魔ム「ちょっと 決定してないぞ！まだ提案だから」
葉山「何だよオメー ちょっとはココを面白くしよ
うって気があんのかよー」
魔ム「お前は 自分が楽しめるようにしようと
してるだけだろ！」
葉山「いや ちゃんとやってるぞ。オープニングが
ダラダラしてるからテーマを交えて俺ら仕
たり 葉山の人生相談コーナー作ったり―
タイプ打つ時に少しでも面白くしようとか
サー。今回色々意見が出たんだから実験的で
もいーからやれよ！」
魔公「『葉山の人生相談コーナー』こそ、自分が
楽しみたいだけだろうが！ 全く原稿は描か
ないくせにこういう事だけ……まあいいや
とりあえず考えとこう。今回の対談は こんな
とこかな」
葉山「ぶっちゃけ今回は俺が編集しまくりで原型
留めないだろうけどな」
高菜「な 何故？」

葉山「お前らほぼ雑談だったからだよ！」

桐屋「またとーぶん呼ばれないなぁ」
葉山「だもんで今回はもう終了 お疲れ！」
魔ム「オチも考えないといかんね」
葉山「そーね」

終わり




とらぶるめーかー
K・H・R
95TH BOOK
FOR ADULT ONLY



ToLOVEる－とらぶる－本第1弾
「とらぶるめーかー」
各同人誌書店にて委託販売中！
（店舗によっては完売しております）
ララ・春菜・そしてあのキャラも…？
第3弾も冬コミ発行予定！
（さらにブラックキャット本も…！？）

*RED RIBBON REVENGER*帝国興亡史

第５９章『史上最大の悲劇』



時は２１世紀。前世紀より続く世界同人大戦の戦火は未だ冷めやらず、各サークル国家は持てる力の全てを注いで創作活動に励んでいた。この物語はそんな激動の時代を生き抜いた『RED RIBBON REVENGER』帝国の愉かいな仲間たちの物語である。

帝国総統魔公子は憂鬱だった。西暦２００４年の上半期における戦いは、想像以上の成功を収め、帝国の基盤はより強固たるものとなったはずであった。ところが、６月サンクリで行われた『鋼』作戦が辛うじて成功を収めたもののつまずきをみせ、さらに８月夏コミの『鋼&修道女』作戦がまさかの失敗に終わったのである。コミケにおける敗戦はここ数年例が無かっただけに、魔公子の落胆は大きかった。しかも最近は体調もダルいし、濱山はよく原稿を落とすし、と悪い事が重なっていたのである。冬の一大決戦まであと３ヶ月を残すのみとなったある秋の日の午後であった。

だが、ここで手をこまねいていては滅亡への坂道を転がり落ちるだけである。今までも数々のピンチに陥りつつも、その鋼鉄不屈の精神とピンク妄想力で乗り越えてきたのだ。今回も逆境をバネに困難を乗り切ってみせる！

９月末、魔公子少将はメンバー会議を開き、冬コミ作戦の詳細を定めた。結果「ガンダムＳＥＥＤ ＤＥＳＴＩＮＹ」と「なつかしのＲＰＧ」の両作戦に決まりかけたが、なつかしのＲＰＧに関して魔公子少将と濱山大佐がそれぞれ「テイルズオブファンタジア」と「ロードス島戦記」を主張した為、メンバーを２つに分けて両方行うこととなった。「テイルズオブファンタジア」が魔公子少将と伊吹護元帥、「ロードス島戦記」が濱山大佐と高遠葬葉元帥である。主力メンバーを２つに分けての２冊同時発行というのは、帝国初の試みである。

東部エレン戦線が５月に行われた『風の妖精２』作戦によって一時的に安定した為、冬の作戦における主戦場は太平洋戦線となった。今年春には『暗転』『触』『幻夢』の３大作戦によって南方資源帯を手中に収め

長期の戦争継続が可能になった帝国軍は、この冬一気に攻勢をかけようとしていたのである。
　10月上旬、帝国軍は新型空母の建造に取りかかった。「SEED DESTINY」「テイルズオブファンタジア」「ロードス島戦記」はそれぞれ『飛龍』『翔鶴』『瑞鶴』と命名され、帝国軍期待の新鋭空母となるべく急ピッチでの建造が進められた。各メンバーも自分の担当する艦載機の訓練に励しんでいるはずであった。各空母の搭載機は下記の通りである。

『飛龍』　ルナマリア式艦上戦闘機14機（魔公子少将）
　　　　　ステラ式艦上爆撃機16機（高速赤栄元帥）
　　　　　ステラ式艦上爆撃機16機（伊吹渡元帥）
　　　　　たいまんが式艦上偵察機3機（たいれる元帥）
『翔鶴』　アーチェ式艦上戦闘機16機（魔公子少将）
　　　　　すず式艦上爆撃機10機（伊吹渡元帥）
　　　　　ミント式艦上攻撃機10機（伊吹渡元帥）
　　　　　たいまんが式艦上偵察機4機（たいれる元帥）
『瑞鶴』　ディードリット式艦上戦闘機16機（高速赤栄元帥）
　　　　　オニース式艦上攻撃機12機（葉山大佐）
　　　　　はやまんが式艦上偵察機3機（葉山元帥）

　総合計120機を擁する大機動部隊である。この戦力をもってすれば冬コミ作戦の成功は間違い無しと魔公子少将は意気揚揚であった。
　11月下旬、三艦とも船体が完成、兵装入稿が完了した。これは多忙な中、3枚同時のCG担当をしてくれたたいれる元帥の尽力によるものであった。そして時を同じくして『翔鶴』の艦載機が揃った。伊吹渡元帥の担当機がそれぞれ2機ずつ間に合わなかったものの、新刊1冊目は無事完成したのである。ロードス艦『瑞鶴』の搭乗機は遅れていたが、まだ時間的に問題は無かった。魔公子少将は早速『飛龍』のルナマリア機の製作に取りかかった。無気力ミニスカ、ニーソックスと自分の趣味ド・ストライクなルナマリアの原稿に、魔公子少将はノリノリであった。残り二人は最初からステラ派だったようだが、魔公子がステラの良さに目覚めるのは数ヶ月先のことである。
　そして入稿最終日、全ての作業から開放されるはずだったのだが……。突如帝国軍基地に空襲警報が鳴り響いた。いつの間にか周辺海域に忍び寄っていた敵艦隊から発進した攻撃隊が空襲をかけてきたのである。『飛龍』『翔鶴』『瑞鶴』の3空母はまだ湾内で停泊中で出撃はできない。飛行場に集結中のはずの艦載機に迎撃命令が出たのだが……。
　各メンバーの艦載機は揃っていなかった。『飛龍』で間に合ったのは魔公子少将のルナマリア機とたいれる元帥のたいまんが機のみ。『瑞鶴』に至っては一機も間に合わなかったのである！　表紙はすでに完成しているものの中身が無いのでは本はできず、入稿当日では魔公子少将にもどうしようもなかった。
　魔公子少将とたいれる元帥のわずかな数の迎撃機が上がったものの、100機を超える敵編隊を阻止することはかなわず、湾内には敵機の爆弾が降り注いだ。まず『飛龍』の飛行甲板を500kg爆弾が直撃、格納庫に達して炸裂した爆弾は艦内をめちゃくちゃに破壊した。さらに数発の直撃弾を食らった『飛龍』は艦の中央部から紅蓮の炎を吹き出し、瞬く間に艦全体が燃え出した。もはや艦載機の発着艦が不可能なのは誰の目にも明らかだった。だが『飛龍』はまだ幸いだった。一機の直掩機も無い『瑞鶴』は低空から接近した雷撃機の魚雷を艦首に食らい、大量に浸水して艦首方向から静かに沈み出した。湾が浅い為に沈没は免れたものの大破着底し、さらに爆弾を浴びて飛行甲板も穴だらけにされてしまった。完成していた『翔鶴』だけは脱出に成功し、奇跡的に無傷で済んだものの、帝国軍は作戦開始前に戦力の3分の2を失い、壊滅的な状況となった。このままでは夏コミの悪夢の再現である。いや、予定が大幅に狂っている分、今回の方がより酷い結果になるのは目に見えていた。
　だが、魔公子はまだ諦めていなかった！　あるいは、あまりにも予想外の状況に追いこまれて、頭が弾けたのかもしれない。わずか数時間で新たな表紙を1枚あげ、既に完成していたルナマリア機をメインにSEED DESTINY本を再編しようとしたのである。新たな表紙の艦は『祥鳳』と命名された。わずかに伸びた本文締め切りまでの間に葉山大佐が、リアリア機4機、伊吹渡元帥がルナマリア機とステラ機各1機をあげてくれたのでそれらを合わせて『祥鳳』はなんとか完成した。さらに、折り本の締め切りまでまだ数日あると知った魔公子少将は無料配布本『瑞鳳』を作るべく、地獄の不眠耐久レースに突入した。結果、魔公子少将、伊吹渡元帥合わせて大橋機1機、八雲機2機、沢近機2機、一条機1機、赤坂機1機、ゴーコ機1機、エルウィン機2機を搭載した『瑞鳳』も完成した。艦載機数を大きく減らせてしまったものの、3隻の空母は辛うじて揃ったのである。
　あとは冬コミの作戦当日を待つのみ。力尽きて呆然と壁を見つめる帝国総統魔公子の顔には、目1番トーンの残像だけが映っていた。

つづく

次回以降新刊予定（あくまで予定・企画です）

次回新刊は１０月か１２月発行を予定しています。
まずは今回の本の続編

☆「触の宴後編　仮）」（ToLOVEる-とらぶる-本第３弾）
ギ・ブリーに捕まってしまった春菜は、さらなる恥辱に耐えられるのか－？
今回よりも３倍エロく！ が目標です！！

☆「とらぶるめーかー2（仮）」（ToLOVEる-とらぶる-本第４弾）
宇宙人に襲われるララとか、リトと春菜の甘酸っぱい話とか。あるいはリトと美柑の禁断の－などなど。ネタはいろいろ！

☆「ハヤテのごとし!?4」「黒猫のごとし!?2」
まだ漫画を描いていないサキさんとか、西沢さんとか－。
イヴやキョウコの話も描きたいです。

☆その他、折り本・コピー本等は各イベントで当日のみの販売をするかもしれません

次回イベント予定

（スペースは全て「RED RIBBON REVENGER」で参加しています）
☆池袋　１０月１日　サンシャインクリエイション３２
☆有明　１２月　コミックマーケット７１
☆他にもオンリーイベントや地方イベントに参加するかも知れません

触の宴

発行　RED RIBBON REVENGER
総裁　麗公子
副総裁　麗山

発行日	初版	2006 8 13	再版日	2006 10 1
印刷所	コーシン出版 様			
編集	麗公子			
表紙原画	麗公子			
表紙CG彩色	たいれるさん（いつも本当にありがとうございます！！）			

※禁無断転載・無断複写。
サイト　http://www.wasurena.sakura.ne.jp/~rrr/
メアド　rrr@wasurena.sakura.ne.jp
お問い合わせ　〒352-8799 新座郵便局私書箱43号「R-R-R」

１０月サンシャインクリエイションのサークルカット→





PRESENTED BY

RED RIBBON REVENGER

FOR ADULT ONLY